

環境先進県に向けた次世代プログラムについて

鳥取県では、「鳥取県版環境管理システム（TEAS：テス）」の創設や「鳥取県駐車時等エンジン停止の推進に関する条例」の制定といった県独自の施策を展開し、県民や企業の方々とともに環境に配慮した取組を進めてきました。

その結果、風力発電などの自然エネルギーの導入や、TEASが企業のみならず家庭や学校へ徐々に浸透し、リサイクル事業を中心とした環境産業の創出など一定の成果は見られましたが、県内の二酸化炭素排出量（2006年度実績）は、1990年度比で約10%も増加するなど、一層の取組み促進が必要な状況となっています。

そこで、地球温暖化防止や循環型社会づくりなど、わが国をリードする環境先進県を目指し、県民との協働により環境活動を一層推進する「環境先進県に向けた次世代プログラム」を新たに策定しました。

○ 計画の期間 平成22（2010）年度末までの3年間

環境先進県に向けた次世代プログラムの概要

1. 県民との協働による環境活動の新たな展開

① 環境日本一とっとり県民運動の展開

（全ての主体の参加と協働による、環境に配慮した取組の推進を目指します。）

② 環境教育・学習の推進

（環境教育の参加者数を20万人以上とするとともに、全市町村に1クラブ以上のこどもエコクラブの登録を目指します。）

③ 環境に配慮した活動を持続的に行うための仕組みの普及

（鳥取県版環境管理システム（TEAS）の取得を推進し、取得数を700以上とし、県内の全小中学校、全高等学校等がTEASを取得します。）

2. 地球温暖化防止

① 二酸化炭素等温室効果ガスの削減

（二酸化炭素の年間排出量を1990年度から8%以上削減をします。）

② 自然エネルギー等の導入

（自然エネルギー等による発電量を6万キロワット以上とします。）

③ 森林等による二酸化炭素の吸収

（二酸化炭素の吸収源対策として育成林の間伐面積を16千ha以上とします。）

3. 循環型社会の確立

① 一般廃棄物（ごみ）の排出抑制、リサイクル率の向上

（1人1日当たりのごみ排出量を920gとするとともに、リサイクル率25%以上とします。）

② 産業廃棄物の減量、リサイクル率の向上と適正処理の推進

（産業廃棄物の減量・リサイクル率96%以上とします。）

③ 環境産業の育成

（新たにリサイクルビジネスに取り組む企業を30社以上とするとともに、県認定グリーン商品として60以上の商品を新たに認定します。）

4. 美しい環境を次の世代へ

① 三大湖沼（湖山池、東郷池、中海）の保全再生

（三大湖沼（湖山池、東郷池、中海）の水質改善を進めます。）

② 自然環境の保全と野生動植物の保護

（自然環境の保全と野生動植物の保護のための人材を育成し、推進体制を整備します。）

③ 環境資源を活用した魅力ある地域づくり

（地域固有の環境資源を活用した地域づくりや花と緑のあふれる快適な地域づくりを推進します。）

（県民のみなさんとの協働による美しい郷土の魅力アップ活動を推進します。）

④ まちなみ景観の保全・活用

（市町村や地域と連携した景観まちづくり活動を拡大し、景観まちづくり活動に取り組む団体（地区）の数を45団体（地区）以上とします。）

⑤ 環境にやさしい農業の推進

（「鳥取県有機・特別栽培農産物推進計画」に基づき、環境に対する化学物質の投入量を少なくした有機農産物・特別栽培農産物の栽培面積を750ha以上とします。）

⑥ 森林の持つ多面的機能の向上

（県民全体で支える森林づくりを推進します。）



このプログラムでは、従来の特定の人や企業の取組みの推進ではなく、多くの県民が一緒になって環境を意識した生活や事業活動を推進するため、具体的で、且つわかりやすい取組みを提案しています。

普段何気なく行っている行動をちょっと見直すライフスタイルの転換により、どの程度環境負荷（二酸化炭素排出量等）を低減できる、或いは温暖化防止などに寄与できるといった成果や効果をできる限り数値で明示して、ライフスタイル転換のきっかけづくりや継続した活動となるように各種情報も併せて提示しています。

＜地球温暖化防止に向けた取組みでは、次のような行動メニューを提案しています＞

次世代プログラムでは、日常生活において年間のCO₂削減量が約1,600Kg、金額にすると約11万円の節約となる取組を提案しています。

少量での洗濯をやめ、容量までためて洗うと
3.3Kg-CO₂削減 電気・水道代4,000円節約／年

電球1個を省エネ型の電球蛍光灯に交換すると
46.6Kg-CO₂削減 電気代2,000円節約／年

お風呂の追い炊きを止めると
88.9Kg-CO₂削減
ガス代8,000円節約／年

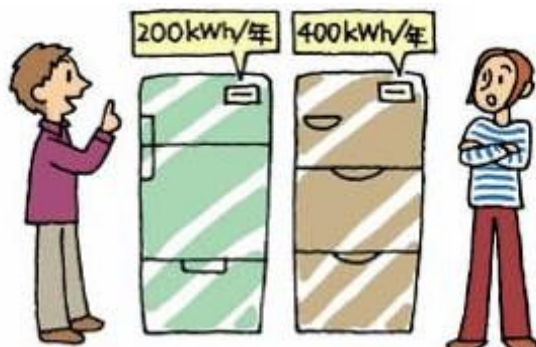
テレビをつける時間を1時間減らすと
22.7Kg-CO₂削減 電気代1,000円節約／年
使っていない時に電気製品のコンセントを抜くと
83.3Kg-CO₂削減 電気代3,600円節約／年

冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定すると
46.3Kg-CO₂削減 電気代2,000円節約／年

【イラスト出典：
環境省「地球温暖化パネル」】



自分の買い物袋を持ってきます。



エネルギー効率の良い電化製品を選びます。



リサイクル商品を購入します。

問い合わせ先

鳥取県生活環境部環境立県推進課 環境立県戦略担当 電話 0857(26)7876
ファクシミリ 0857(26)8194

「環境先進県に向けた次世代プログラム」ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=77890> または、鳥取県公式ホームページ（とりネット）で検索

キーワード 次世代プログラム

検索